

iコンピテンシールーブリック

このルーブリック（振り返りのための評価基準）を参考にしながら高校生活を送ろう。

自分に最もあてはまるものを、1～5のうちから1つ選んでください

		1 不十分である	2 やや不十分である	3 おおむね身につけている	4 十分身につけている	5 卓越的に発揮できる	4月	12月
I 情報分析活用 力	I-1 情報収集力	課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。	課題解決のためにどのようなことを調べたらよいか、自分で考えることが難しい	課題解決のためにどのようなことを調べたらよいか、自分で考えることができる	課題解決につながる必要な情報を、具体的な根拠を踏まえて考えることができる	どのような情報を組み合わせれば課題解決できるかを考えながら、複数の必要な情報を挙げることができる	実験・先行研究調査以外に解決に向けて情報の入手の仕方を提案できる	
	I-2 情報活用力	情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる。	インターネットでの検索以外に情報収集の方法を考えることが難しい	インターネット以外にも図書館などで本を探して情報を収集することができる	目的や仮説などを踏まえて、複数のメディアを活用する方法・手段を考えることができる	統計データの活用や専門家への聞き取りなどといった情報収集の方法・手段を考えることができる	校外の教育資源を活用し、自分独自の情報を手に入れることができる	
	I-3 情報分析力	情報を組み合わせることで課題解決に活かすことができる。	課題解決に必要な情報を組み合わせることが難しい	与えられた情報であれば組み合わせることができる	どのような情報が必要かを考えながら、自分で情報を組み合わせることができる	課題解決に必要な情報を複数収集し、どのように組み合わせれば課題解決に繋がるかを考えながら、情報を活用することができる	先行研究等の論文を5本以上読み、自分の論文に引用できている	
	I-4 情報評価力	情報の真偽を判断し、確かな情報に基づいて結論を導くことができる。	自分が知らないことについてきちんと調べて情報の真偽を判断することが難しい	インターネットや本で調べた情報を基にして、情報の真偽を判断することができる	複数のメディアを活用して集めた情報を基にして、情報の真偽を判断して結論を導くことができる	真偽を判断するために必要な複数の情報を組み合わせることで結論を導くことができる	自分の主張を説明するとき、正しく引用と参考文献を示すことができる	
	I-5 情報表現力	集めた情報を表やグラフ等を用いて数量的に表すことができる。	コンピュータを活用して表やグラフを作成することが難しい	コンピュータを活用して簡単な表やグラフを作成することができる	グラフには単位や数値が必要であることを理解しており、グラフ内に単位や数値をきちんと表示することができる	どのような表やグラフであれば集めた情報を適切に数量的に表すことができるか判断することができる	自分の主張を説明するとき、客観的な根拠となる表やグラフを示すことができる	
II 論理的思考 力	II-1 判断力	物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。	物事の全体の構成を大まかにつかむことができない	物事の全体の構成をとらえることはできるが、結論を導き出すことは苦手である	物事の全体の構成を正しくとらえ、結論を導き出すことができる	物事の全体の構成を正しくとらえ、そこから誰もが納得できる結論を導き出すことができる	大規模で複雑なプロジェクトの全体像を把握し、成功に導くことができる	
	II-2 批判力	他者の主張に対して、誤りの有無を判断することができる。	他者の主張に対して、誤りの有無を判断することが難しい	他者の主張に対して、誤りの有無を判断することはできるが、その根拠をはっきりと説明することができない	他者の主張に対して、根拠をあげて誤りの有無を判断することができる	他者の主張もふまえながら、根拠をあげて誤りの有無を説明することができる	統計の知識を用いて判断した根拠をもとに、他者の主張の正当性を説明することができる	
	II-3 根拠提示力	自己の主張に対して、必要な根拠を示すことができる。	自己が主張したいことについて、必要な根拠を示すことが難しい	自分の主張を説明することはできるが、反論に対して、自らの主張の正当性を主張することができない	根拠を示して自分の主張の正当性を説明することができる	きちんと裏付けられた根拠をもとに、自分の主張の正当性を説明することができる	統計の知識を用いて判断した根拠をもとに、自分の主張の正当性を説明することができる	
	II-4 説明力	「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。	筋道を立てて自分の考えを組み立てることができない。	自分の考えを筋道を立てて組み立てようとするが、説明することが難しい。	自分の考えを筋道を立てて説明できる。	自分の考えを「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、筋道を立てて自分の考えを組み立て、結論を説明できる	複雑な問題に対し、クリティカルシンキングを行い、創造的な解決策を見つかけられる	
	II-5 構成員力	「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。	人に説明するとき、結論は述べることができるが、その理由や具体例まで話すことはできない	人に説明するとき、結論とその理由を述べることはできるが、その具体例まで話すことはできない	人に説明するとき、「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる	人に説明するとき、「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話し、相手を納得させることができる	チームやグループをリードする際に、的確な方針を示すことができる	
III 決断実行 力	III-1 コミュニケーション力	対話による議論ができ、意見をまとめることができる。	自分の主張は持っているが、議論することができない	自分の考えを持っており、話し合いの最後に意見をまとめようとするが、まとめることができない	相手の意見を踏まえた自分の考えを持っており、話し合いの最後に意見をまとめることができる	ホワイトボード等を用いてお互いの意見を見える化し、全員で合意に向けてまとめることができる	適切な質問や要約・図示化を行うことで、円滑な対話を促進し、議論を主導し、意見をまとめることができる。	
	III-2 対話力	伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。	話し合いをした後、相手に何が伝わったかを確認しない	話し合いをした後、相手に何が伝わったかを確認できる	相手の知識や理解度を把握しようとして、数字や比較やSWIHを取り入れた説明をすることができる	相手の知識や理解度を把握しようとして、内容をよく検討して正確で効果的に発表ができる	相手の興味やニーズに合わせて情報を組み合わせ、適切な発表をすることができる。	
	III-3 協働計画力	目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。	目標を立てることが苦手で、行き当たりばったりの行動をとることが多い	目標を立てることはできるが、それを達成するための計画を立てて行動することができない	目標を立て、それを達成するための計画を立てて行動することができる	目標を達成するために計画を立てて行動し、うまく行かない場合には、その計画を修正しながら行動することができる	手帳やアプリ等を用いてタスク管理を行い、状況に応じて他者と情報を共有することができる	
	III-4 自己責任力	自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。	判断を迫られた場合、自ら判断することが難しい	自ら判断することはできるが、その判断に沿って対応することは難しい	自ら判断し、その判断に沿って対応することができるが、状況が変化したときに対応することができずに困ることがある	自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応することができる	他者の意見を取り入れ、最終的に自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応することができる	
	III-5 挑戦力	自分の限界に挑戦しようとする。	色々なことに挑戦することが苦手で、難しいと感じたことはすぐにあきらめてしまう	色々なことに挑戦しようとする意欲はあるが、具体的な行動にはなかなか結びつかない	時には自分の限界に挑戦することができる	自分の力をよく理解した上で、自分の限界に挑戦し、最後まであきらめず行動できる	最後まで諦めず行動した結果を振り返り、自分の限界を高めることができる	